

# 平成28年度

(対象期間:平成28年 10月～平成29年3月)

## 環境活動レポート

作成日:平成 29年6月10日

有限会社 ウイルビ

# 環 境 宣 言

## 基本理念

有限会社ウイルビは、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、持続可能な社会を目指し「未来へ残そう きれいな河川」をモットーに、全社員がそれぞれの持ち場において、環境負荷の低減に努力します。

未来へ残そう きれいな河川

## 方 針

有限会社ウイルビは、産業廃棄物等の収集運搬、中間処理及び管理型最終処分施設の管理に係わる全ての活動の環境負荷を低減するために、次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進して環境との共生・調和に考慮した事業活動に取り組み、環境負荷を継続的に削減していきます。

1. 当社の活動に係わる環境影響を常に認識し、環境汚染の予防を推進するとともに、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。
2. 当社の活動に係わる環境関連の法的及びその他の要求事項を順守します。
3. 当社の活動に係わる環境影響のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。
  - (1) 施設内の省エネ活動強化
  - (2) エネルギー効率の向上
  - (3) 社内講習会の実施
  - (4) 処理業による重大事故の防止
  - (5) エコドライブ10のすすめの推進
  - (6) 小まめな節電の実施と社内啓発の推進
  - (7) グリーン購入の推進
  - (8) 事業所周辺道路の清掃活動の実施
4. 一人ひとりが環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、この環境宣言を全従業員に周知するとともに社外へも公表します。
5. 環境改善活動に積極的に参加します。

作成日：平成28年3月1日

有限会社 ウイルビ

代表取締役 渡邊 充陽

## I 組織の概要

### 1 事業者名及び代表者氏名

有限会社 ウイルビ  
代表取締役 渡邊 充陽

### 2 所在地

本社 福岡県田川市寿町7番59号  
事業所 福岡県嘉麻市上山田1096番地5

### 3 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 明崎 将之  
連絡先 TEL : 0948-53-1196 FAX : 0948-52-0869  
Email : w\_uirubi3838@ybb.ne.jp

### 4 事業の規模

資本金 1,000万円  
実績

項目	単位	26年度	27年度	28年度
受入量	m3	13,569	13,383	14,245
運搬量	m3	1,988	2,110	2,805
売上額	百万円	271	255	268
従業員	人	13	13	12
床面積	m2	6,033	6,033	6,033

### 5 事業内容

#### (1) 事業の範囲

産業廃棄物収集運搬業・産業廃棄物処分業

#### (2) 許可の内容

特別管理産業廃棄物収集運搬業(福岡県)

許可番号 04050032708

許可年月日 平成26年9月20日

許可の有効年月日 平成31年9月19日

許可品目 廃油、廃酸、廃アルカリ、感染性産業廃棄物、鉍さい、廃石綿等、ばいじん、燃え殻、汚泥

特別管理産業廃棄物収集運搬業(熊本県)

許可番号 04355032708

許可年月日 平成29年3月22日

許可の有効年月日 平成34年3月21日

許可品目 廃油、廃酸、廃アルカリ、感染性産業廃棄物、鉍さい、廃石綿等、ばいじん、燃え殻、汚泥

特別管理産業廃棄物収集運搬業(山口県)

許可番号 03330032708

許可年月日 平成29年3月19日

許可の有効年月日 平成34年3月18日

許可品目 廃油、廃酸、廃アルカリ、感染性産業廃棄物、鉍さい、廃石綿等、ばいじん、燃え殻、汚泥

産業廃棄物収集運搬業(福岡県)

許可番号 04000032708  
許可年月日 平成27年9月26日  
許可の有効年月日 平成32年9月25日  
許可品目 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、鋳さい、がれき類、ばいじん、石綿含有産業廃棄物を含む。

産業廃棄物収集運搬業(熊本県)

許可番号 04000032708  
許可年月日 平成29年3月22日  
許可の有効年月日 平成34年3月21日  
許可品目 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、鋳さい、がれき類、ばいじん、コンクリートくず及び陶磁器くず、石綿含有産業廃棄物を含む

産業廃棄物収集運搬業(山口県)

許可番号 03500032708  
許可年月日 平成29年3月19日  
許可の有効年月日 平成34年3月18日  
許可品目 廃プラスチック類、金属くず、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、鋳さい、がれき類、ばいじん、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、石綿含有産業廃棄物を含む

特別管理産業廃棄物処分業(福岡県)

許可番号 04090032708  
許可年月日 平成26年8月2日  
許可の有効年月日 平成31年8月1日  
許可品目 感染性産業廃棄物  
処理方法 中間処理(焼却)  
処理能力 100kg/時 2.4t/日(24時間)

許可品目 廃石綿等  
処理方法 最終処分(埋立)  
処理能力 埋立面積 6,033m<sup>2</sup>

産業廃棄物処分業(福岡県)

許可番号 04040032708  
許可年月日 平成26年8月2日  
許可の有効年月日 平成31年8月1日  
許可品目 汚泥(有機性)、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず  
処理方法 中間処理(焼却)  
処理能力 100kg/時 2.4t/日(24時間)

許可品目 金属くず、ガラスくず等、汚泥(無機性)  
処理方法 中間処理(熱処理)  
処理能力 2.4t/日(24時間)

許可品目 がれき類  
 処理方法 中間処理(破碎(移動式))  
 処理能力 200t/日(8時間)

許可品目 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等、燃え殻、汚泥、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、ばいじん、石綿含有産業廃棄物を含む。  
 処理方法 最終処分(埋立)  
 処理能力 埋立面積 6,033m<sup>2</sup>

(3) 施設の概要

①産業廃棄物中間処理施設(焼却・熱処理)

設置場所 福岡県嘉麻市上山田字猪ノ鼻1096番5  
 設置年月日 平成5年12月4日  
 処理方式 ロータリーキルン+ストーカー炉  
 処理能力 100kg/時 2.4t/日(24時間)

②産業廃棄物中間処理施設(破碎(移動式))

設置場所 福岡県嘉麻市上山田字猪ノ鼻1096番5  
 設置年月日 平成8年6月30日  
 処理方式 自走式クラッシャ  
 処理能力 200kg/日(8時間)

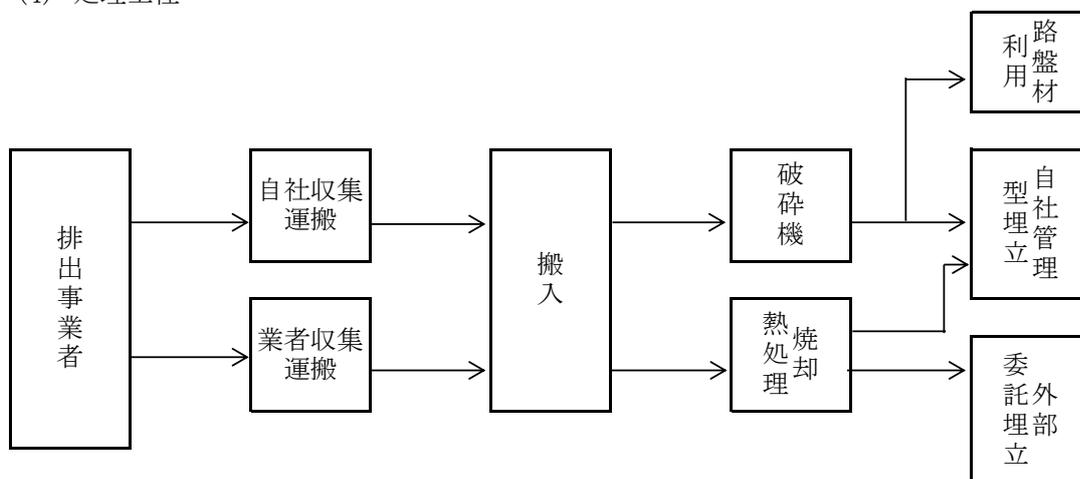
③産業廃棄物最終処分施設(最終処分場)

設置場所 福岡県嘉麻市上山田字猪ノ鼻1096番5  
 設置年月日 昭和55年1月30日  
 処理方式 管理型埋立  
 処理能力 埋立面積 6,033m<sup>2</sup> 埋立容量 56,688m<sup>3</sup>

④産業廃棄物収集運搬車両

自動車番号	種類	最大積載量
筑豊88や222	清掃車	9200kg
筑豊100は459	ダンプ	9000kg
筑豊100さ3690	バン	2000kg

(4) 処理工程



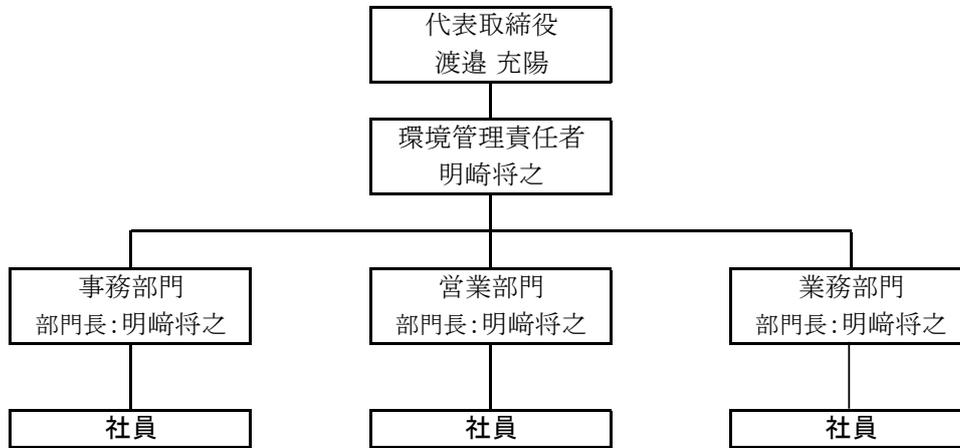
(5) 廃棄物処理料金

料金の提示: 見積書による。現物、性状確認後見積書作成。

6 沿革

昭和54年10月創業

7 環境マネジメント推進体制



全組織・全活動が認証・登録の対象範囲です。

② 受託した産業廃棄物等の処理量

平成28年度(平成28年10月～平成29年3月)

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量 (m3)
(i) 収集運搬	産業廃棄物		0.0
収集運搬量合計			0.0
(ii) 中間処理	産業廃棄物	焼却	1,533.17
	感染性廃棄物	焼却	5,341.97
	うち 再資源化等		
再資源化等量小計			0.0
中間処理合計			6,875.1
(iii) 最終処分	産業廃棄物	埋立	32.17
	特別管理産業廃棄物	埋立	203.4
最終処分量合計			235.57
(iv) 中間処理後の産業廃棄物	最終処分	燃え殻(t)	128.95
		ばいじん(t)	232.25
	再資源化等		
		再資源化等量小計	0.0
中間処理後処分量合計(t)			361.2

## 7. 環境目標

環境目標	単位	平成26年度 (基準年:実績)	試行運用期間目標 (平成28/4～9月)	平成28年度下期 (10月～3月)
二酸化炭素排出量の削減	Kg-CO2	976,703	483,468 (基準年比1%削減)	483,468 (基準年比1%削減)
電気使用量	Kwh	594,882	294,467	294,466
ガソリン使用量	L	6,676	3,305	3,304
軽油使用量	L	20,883	10,337	10,337
A重油使用量	L	206,270	102,104	102,103
一般廃棄物の削減	Kg	840	416 (基準年比1%削減)	416 (基準年比1%削減)
水使用量の削減	m <sup>3</sup>	19,522	9,664 (基準年比1%削減)	9,663 (基準年比1%削減)
グリーン購入推進	品目	3品目	2品目	2品目
受託した産業廃棄物の収集運搬における環境配慮(燃費の向上)	Km/L	4.00	(基準年比1%の向上) 4.04	(基準年比1%の向上) 4.04
社会貢献活動	回	未集計	1回/半年	1回/半年
処理業による重大事故ゼロ	回	0	0	0

【二酸化炭素排出係数】①電力の二酸化炭素排出係数には九州電力、平成26年度実排出係数0.584(kgCo2/kWh)を使用した

環境目標	単位	平成26年度 (基準年:実績)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
二酸化炭素排出量の削減	Kg-CO2	976,703	966,936 (基準年比1%削減)	957,169 (基準年比2%削減)	947,402 (基準年比3%削減)
電気使用量	Kwh	594,882	588,933	582,984	577,036
ガソリン使用量	L	6,676	6,609	6,542	6,476
軽油使用量	L	20,883	20,674	20,465	20,257
A重油使用量	L	206,270	204,207	202,145	200,082
一般廃棄物の削減	Kg	840	832 (基準年比1%削減)	823 (基準年比2%削減)	815 (基準年比3%削減)
水使用量の削減	m <sup>3</sup>	19,522	19,327 (基準年比1%削減)	19,132 (基準年比2%削減)	18,936 (基準年比3%削減)
グリーン購入推進	品目	3品目	4品目	4品目	4品目
受託した産業廃棄物の収集運搬における環境配慮(燃費の向上)	Km/L	4.00	(基準年比1%の向上) 4.04	平成29年度 改定目標値 2.6	平成29年度比 1%の向上 2.626
社会貢献活動	回	未集計	2回/年	3回/年	4回/年
処理業による重大事故ゼロ	回	0	0	0	0

【二酸化炭素排出係数】①電力の二酸化炭素排出係数には九州電力、平成26年度実排出係数0.584(kgCo2/kWh)を使用した

## 8. 環境活動計画

### (1) 二酸化炭素排出量の1%削減

取組項目	活動項目
電気使用量の削減 (49,078 Kwh以下/月)	・空調温度の適正化(冷房28℃、暖房20℃)
	・消灯の励行
	・OA機器の電源をこまめに切る
	・コピー機使用後のリセット
	・焼却炉の適正運転
ガソリン使用量の削減 (550 L以下/月)	・アイドリングストップ
	・エコドライブの推進
	・車両点検整備の励行
	・作業時間、待機時間、走行距離の短縮化
軽油使用量の削減 (1,722 L以下/月)	・アイドリングストップ
	・エコドライブの推進
	・車両点検整備の励行
	・作業時間、待機時間、走行距離の短縮化
A重油使用量の削減 (17,017 L以下/月)	・焼却炉の適正運転

### (2) 一般廃棄物の1%削減

取組項目	活動項目
一般廃棄物排出量の削減 (69 Kg以下/月)	・両面印刷、両面コピーの徹底
	・詰め替え可能な製品の購入
	・紙くずのリサイクル化
	・ゴミの減容化

### (3) 水使用量の削減1%削減

取組項目	活動項目
水使用量の削減 (1,610 m <sup>3</sup> 以下/月)	・節水シールの貼り付け
	・社用車洗車時の節水
	・焼却炉の適正運転

### (4) グリーン購入 4品目

取組項目	活動項目
事務用品等のグリーン購入品目の増加	・再生紙の購入
	・環境ラベル認定製品の購入

### (5) 受託した産業廃棄物の収集運搬における環境配慮

取組項目	活動項目
燃費の向上 (4.04 Km/L以上)	・アイドリングストップ
	・エコドライブの推進
	・車両点検整備の励行

### (6) 社会貢献活動

取組項目	活動項目
事業所周辺道路の清掃活動 目標値 2回/年	・空き缶等のゴミ拾い
	・除草作業

### (7) 処理業による重大事故ゼロ

取組項目	活動項目
重大事故ゼロ運動 目標値 0回	・作業時のヘルメット・安全靴着用

## 9. 環境目標実績及び活動計画の取組結果と評価

### 9.1 環境目標実績

環境目標	単位	平成28年度 (年間目標)	運用期間目標(平 成28/10～29/3月)	運用期間実績(平 成28/10～29/3月)	目標達成 の判定
二酸化炭素排出量 の削減	kg-CO <sub>2</sub>	966,936	483,468	422,317	○
電気使用量	kWh	588,933	294,467	284,463	○
ガソリン使用量	L	6,609	3,305	4,043	×
軽油使用量	L	20,674	10,337	5,323	○
A重油使用量	L	204,207	102,104	92,110	○
一般廃棄物の削減	kg	832.0	415.8	410	○
水使用量の削減	m <sup>3</sup>	19,327	9,663	8,308	○
グリーン購入推進	—	4品目	2品目	3品目	○
受託した産業廃棄物 の収集運搬燃費の向 上	km/L	4.04	4.04	2.52	×
社会貢献活動	回	2回/年	1回/半年	3回	○
処理業による重大事故 ゼロ	回	0	0	0	○

【二酸化炭素排出係数】①電気:0.584(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を使用した

### 9.2 環境活動計画の取組結果と評価

取組項目	活動計画の内容	取組結果	評価と課題
二酸化炭素排出量削減	電気使用量の削減	○	電気等は、細かに節電でき 焼却炉の適正運転も実施 出来た。エコドライブを実施 しているが仕事量増の為、 使用量が増した。
		○	
		○	
		○	
		○	
燃料油使用量の削減 (軽油、ガソリン、A重油)	燃料油使用量の削減	×	
		○	
		○	
		○	
		○	
一般廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	○	紙のリサイクル、両面コピー の徹底に取り組んでいるが 更なるゴミの減容化に取り 組む。
		○	
		○	
		○	

水使用量の削減	節水シールの貼り付け	○	焼却炉の適正運転に取り組んでいるが仕事量増の為、達成出来なかった。
	社用車洗車時の節水	○	
	焼却炉の適正運転	○	
グリーン購入推進	再生紙の購入	○	積極的にエコマーク商品の購入、再生紙の利用。
	環境ラベル認定製品の購入	○	
受託した産業廃棄物の収集運搬における環境配慮(燃費向上)	アイドリングストップ	○	燃費向上の未達成は、運搬コストを見直し大型車を使用した結果と考えられる。
	エコドライブの推進	×	
	車検点検整備の励行	○	
事業所周辺道路の清掃活動	空き缶等のゴミ拾い	○	全従業員が積極的に周辺のゴミ拾いを行っている。
	除草作業	○	
処理業による重大事故ゼロ	作業時のヘルメット、安全靴着用	○	全従業員が意識を持って行っている。
	作業開始、終了時の指差し確認	○	

## 10. 次年度(平成29年度 平成29/4～平成30/3)の取組内容

### (1) 二酸化炭素排出量、基準年比2%削減

取組項目	活動項目
電気使用量の削減 ( 48,582 Kwh以下/月)	・空調温度の適正化(冷房28℃、暖房20℃)
	・消灯の励行
	・OA機器の電源をこまめに切る
	・コピー機使用後のリセット
化石燃料使用量の削減 (ガソリン : 545 L以下/月) (軽油 : 1,705L以下/月) (A重油 : 16,845L以下/月)	・アイドリングストップ
	・エコドライブの推進
	・車両点検整備の励行
	・作業時間、待機時間、走行距離の短縮化
	・焼却炉の適正運転

### (2) 一般廃棄物排出量、基準年比2%削減

取組項目	活動項目
一般廃棄物排出量の削減 ( 68 Kg以下/月)	・両面印刷、両面コピーの徹底
	・詰め替え可能な製品の購入
	・紙くずのリサイクル化
	・ゴミの減容化

### (3) 水使用量、基準年比2%削減

取組項目	活動項目
水使用量の削減 ( 1,594m <sup>3</sup> 以下/月)	・節水シールの貼り付け
	・社用車洗車時の節水
	・焼却炉の適正運転

### (4) グリーン購入 4品目

取組項目	活動項目
事務用品等のグリーン購入品目の増加	・再生紙の購入
	・環境ラベル認定製品の購入

### (5) 受託した産業廃棄物の収集運搬における環境配慮(平成29年度改定目標)

取組項目	活動項目
燃費の向上 ( 2.6Km/L以上)	・アイドリングストップ
	・エコドライブの推進
	・車両点検整備の励行

### (6) 社会貢献活動

取組項目	活動項目
事業所周辺道路の清掃活動 (3回/年)	・空き缶等のゴミ拾い
	・除草作業

### (7) 処理業による重大事故ゼロ

取組項目	活動項目
重大事故ゼロ運動 目標値 0回	・作業時のヘルメット・安全靴着用
	・作業開始・終了時の指差し確認
	・車両点検整備の励行

## 11. 環境関連法規等の遵守状況及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無

当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を平成29/5/30に確認した結果、違反は、有りませんでした。

また、関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

## 12. 代表者による全体評価と見直し結果

### 【評価】

- ①エコアクション21に取組み環境意識は高くなったが一部、未達成があった。
- ②ガソリンの未達成は、営業活動増、年度末繁忙期の為であるとする。
- ③水使用量の未達成は、仕事量の増に伴う焼却炉運転によるものと考えられる。
- ④燃費向上の未達成は、運搬コストを見直し大型車を使用した結果と考えられる。
- ⑤従業員は、安全運転・重大事故ゼロ・3S(整理、整頓、清掃)活動に取り組み意識を持って仕事に励んでいます。
- ⑥朝礼、終礼でのミーティングでは、必要な情報の共有が図られています。
- ⑦飲酒運転、粗暴運転は絶対しないようにしています。

### 【見直し】

- ①今後も継続してエコ活動に取り組む。
- ②重大事故につながる軽微な事故も起こさないように細心の注意を払う。
- ③3S(整理、整頓、清掃)活動は、継続して行う。
- ④報告、連絡、相談は、徹底する。
- ⑤各自、健康管理に注意する。

環境方針、環境活動計画等の見直しは、行わない。

次年度は収集運搬の燃費目標の見直しを行う。

全体評価見直し実施 平成 29 年 6 月 1 日